



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月14日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
コード番号 3384 URL <https://arkcore.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 正渡 康弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 土屋 勉（TEL）03(5928)1537
半期報告書提出予定日 2026年10月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	4,288	7.5	383	8.4	381	8.4	255	8.1
2026年2月期中間期	3,988	29.0	353	△4.1	351	△2.5	236	△5.1
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2027年2月期中間期	140.35		—					
2026年2月期中間期	131.08		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	3,070	1,810	59.0
2026年2月期	2,888	1,558	54.0

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 1,810百万円 2026年2月期 1,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—	0.00			
2027年2月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,589	△9.1	239	△44.5	231	△45.8	160	△44.4	89.02

直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期中間期	1,970,000株	2026年2月期	1,970,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年2月期中間期	167,049株	2026年2月期	163,688株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2027年2月期中間期	1,823,370株	2026年2月期中間期	1,806,312株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。企業収益は底堅い内需と輸出の回復により概ね高い水準を維持しており、雇用情勢も良好な状態が続いております。一方で、国内における断続的な金利上昇や、不安定な外国為替相場に伴うエネルギー価格の変動などにより、物価は依然として高水準で推移しております。加えて、緊迫化する中東情勢や世界的なインフレの長期化など、海外景気の下振れリスクが国内景気に与える影響につきましては、引き続き注視が必要な状況となっております。

当中間会計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

バイク市場におきましては、春の需要期における国内バイクメーカー各社による新型モデルの投入が相次ぎました。若年層や女性層の新規開拓に加え、リターンライダー向けの趣味的な高い中大型モデルの拡充など、幅広い層で需要が喚起され、2026年の新車販売台数は堅調に推移しております。また、海外メーカーにおいても、中排気量帯(400cc以下)の戦略的モデルの投入も好調に推移し、ユーザー層の裾野の拡大に寄与しております。

中古バイク市場においては、業者間オークション相場が引き続き安定傾向を維持いたしました。その一方で、為替変動に伴う海外バイヤーの買付動向や国内の物価高騰による消費者のマインドの変化が仕入価格や販売価格に影響を及ぼす状況となっております。

このような環境下において、当社は、バイクを売却したいユーザーの満足度の向上と事業利益の最大化を両立させるために、データ分析に基づいた適正な買取価格の設定に注力し、買取成約率の維持と粗利単価の向上を並行して推進しております。

集客面におきましては、最需要期である第1四半期にWEB広告を中心とした戦略的な広告宣伝活動を強化いたしました。ユーザー層の変化に対応した効果的な媒体運用を行うことで、安定的な買取台数を確保いたしました。これらの施策により広告宣伝費については前年同期比で増加いたしました。

バイク事業の当中間会計期間の業績は、売上高4,016百万円(前年同期比7.7%増)、セグメント利益368百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

(フィットネス事業)

エンタタイムフィットネスにおきましては、健康意識の高まりを背景に、新規入会者の獲得に向けたキャンペーンの実施及び前事業年度でリニューアルを実施した2店舗での会員満足度の向上が図れた結果、全4店舗の月平均会員数は前年同期比7.1%増と堅調に推移しております。他方、前事業年度でリニューアル対象でなかった2店舗において、FC契約更新に伴う内装設備の更新及びマシン入れ替えを行うことで休業期間が発生したため、月会費収入は減少しました。

ステップゴルフにおきましては、全2店舗の月平均会員数が前年同期比6.5%減となっております。

フィットネス事業の当中間会計期間の業績は、売上高256百万円(前年同期比1.6%減)、セグメント利益41百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

(その他)

当社は、システム開発を主たる事業としていた株式会社プロトノーツを2026年4月に吸収合併し、新たにIT事業を開始いたしました。当事業の当中間会計期間の業績は、売上高15百万円、セグメント損失27百万円となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は売上高4,288百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益383百万円(前年同期比8.4%増)、経常利益381百万円(前年同期比8.4%増)、中間純利益255百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当中間会計期間末において総資産は3,070百万円となり、前事業年度末と比較して181百万円増加しました。主な要因としては、現金及び預金が226百万円、有形固定資産が65百万円増加し、商品が63百万円、売掛金が27百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末において負債は1,259百万円となり、前事業年度末と比較して69百万円減少しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が64百万円、1年内償還予定の社債を含む社債が60百万円、役員賞与引当金が20百万円減少し、未払法人税等が90百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末において純資産は1,810百万円となり、前事業年度末と比較して251百万円増加しております。主な要因としては、中間純利益255百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物は1,871百万円(前年同期は1,616百万円)となっております。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は459百万円(前年同期は得られた資金237百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前中間純利益376百万円、棚卸資産の減少額63百万円、その他の流動資産の減少額32百万円、減価償却費29百万円、支出した資金としては法人税等の支払額42百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は86百万円(前年同期は支出した資金77百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出96百万円、合併による収入13百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は147百万円(前年同期は支出した資金204百万円)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出164百万円、社債の償還による支出60百万円、自己株式の取得による支出23百万円、長期借入れによる収入100百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月14日に公表いたしました2027年2月期の業績予想数値に対し、当中間会計期間の業績の進捗状況は堅調であります。バイク事業においては四半期単位の業績変動幅が大きいこともあり、期末にかけて業績予想数値に収束していく可能性が高いと判断しているため、業績予想数値は変更いたしません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当中間会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,661,779	1,887,869
売掛金	82,940	55,180
商品	783,453	719,608
貯蔵品	2,333	2,798
前払費用	21,616	25,032
その他	30,025	1,986
流動資産合計	2,582,150	2,692,475
固定資産		
有形固定資産	156,434	221,678
無形固定資産	15,378	19,437
投資その他の資産	134,421	136,690
固定資産合計	306,235	377,807
資産合計	2,888,385	3,070,282
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,302	24,322
1年内償還予定の社債	105,000	75,000
1年内返済予定の長期借入金	276,036	273,329
未払法人税等	49,353	139,811
賞与引当金	37,502	36,332
役員賞与引当金	20,000	—
その他	268,651	254,071
流動負債合計	780,844	802,866
固定負債		
社債	80,000	50,000
長期借入金	468,911	407,046
固定負債合計	548,911	457,046
負債合計	1,329,755	1,259,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	264,984	273,636
利益剰余金	1,121,964	1,377,865
自己株式	△61,144	△73,956
株主資本合計	1,558,630	1,810,370
純資産合計	1,558,630	1,810,370
負債純資産合計	2,888,385	3,070,282

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	3,988,066	4,288,504
売上原価	2,448,706	2,564,768
売上総利益	1,539,359	1,723,735
販売費及び一般管理費	1,185,824	1,340,659
営業利益	353,534	383,076
営業外収益		
受取利息	1,687	2,974
受取手数料	2,990	2,008
その他	708	484
営業外収益合計	5,386	5,467
営業外費用		
支払利息	5,727	5,972
社債利息	1,372	792
その他	16	552
営業外費用合計	7,116	7,317
経常利益	351,805	381,227
特別損失		
固定資産除却損	48	4,369
特別損失合計	48	4,369
税引前中間純利益	351,757	376,857
法人税、住民税及び事業税	115,283	129,314
法人税等調整額	△290	△8,357
法人税等合計	114,993	120,956
中間純利益	236,764	255,901

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	351,757	376,857
減価償却費	29,959	29,037
のれん償却額	—	385
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,405	△1,170
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,000	△20,000
受取利息	△1,687	△2,974
支払利息	5,727	5,972
社債利息	1,372	792
自己株式取得費用	—	345
有形固定資産除却損	48	4,369
売上債権の増減額(△は増加)	△16,792	27,760
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,544	63,379
仕入債務の増減額(△は減少)	2,168	20
その他の流動資産の増減額(△は増加)	13,649	32,226
その他の流動負債の増減額(△は減少)	41,899	△18,665
その他	171	7,123
小計	396,414	505,461
利息の受取額	1,671	2,980
利息の支払額	△6,371	△6,927
法人税等の支払額	△154,145	△42,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,569	459,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900	△907
有形固定資産の取得による支出	△40,489	△96,238
投資有価証券の取得による支出	△5,062	—
差入保証金の差入による支出	△23,563	△509
差入保証金の回収による収入	450	3,008
無形固定資産の取得による支出	△7,238	△1,775
合併による収入	—	13,807
貸付けによる支出	△880	△150
貸付金の回収による収入	30	180
その他の支出	—	△3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,653	△86,184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△108,244	△164,572
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,005	—
社債の償還による支出	△95,000	△60,000
自己株式の取得による支出	—	△23,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,249	△147,942
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,333	225,181
現金及び現金同等物の期首残高	1,661,100	1,646,775
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,616,766	1,871,956

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前中間会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	3,727,741	260,325	3,988,066
セグメント利益	302,785	50,748	353,534

(注) 「セグメント利益」は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計 (注) 2
	バイク事業	フィットネス事業		
売上高	4,016,503	256,097	15,903	4,288,504
セグメント利益 又は損失 (△)	368,653	41,452	△27,028	383,076

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT事業を含んでおります。

(注) 2 「セグメント利益又は損失 (△)」は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。